

〔奨励部門〕

1. 氏名 田中 千智 (画家)
2. 年齢 43歳 ※R6.1.16現在
3. 住所 福岡市西区



【経歴及び選考理由】

多摩美術大学卒業。平成18年から、福岡を拠点に画家として活動を開始。

自身の代名詞となる画風を模索し、平成20年、アクリル絵具を使ったフラットな漆黒の背景に、艶やかな油彩で前景を描くという独自の手法を開拓。この「黒い絵」と呼ばれる作品には、笑みとも怒りともとれる人物の表情、漆黒の中にきらめく風景など、相反する要素が組み合わせられて描かれており、観る者に強い印象を与え、その想像力をかきたてる。

福岡市に在住しながら、福岡、東京で多数の個展を開催するほか、韓国、シンガポール、台湾、香港、イギリス、フランスなど海外での展覧会にも多数出品している。その他、書籍の装丁画、小学館新本社ビルの大作壁画など幅広い活動を行い、福岡を拠点とする作家の代表格の一人となっている。

アートフェアや公募展にも多数参加しており、平成20年には、アート情報誌「art-icle」が主催する公募展「art-icle賞展」オーディエンス賞を、平成22年には、新進作家たちの埋もれた才能を掘り起こし、日本の美術界を背負う有力な作家を出来る限り多く世に送り出すために企画された「ART AWARD NEXT #1」（東京美術青年会主催）において青年会賞を受賞。

さらに、平成24年には、全国の美術館学芸員、ジャーナリスト、研究者などに40才以下の若手作家の推薦を依頼し、その作家が平面作品の新作を出品するという方式により国内各地から未知の優れた才能を紹介する「VOCA展2012」（「VOCA展」実行委員会／公益財団法人日本美術協会上野の森美術館主催）に推薦されたほか、平成25年には、年齢・所属を問わず、真に力がある作品を公募する「FACE 2013（損保ジャパン日本興亜美術賞）」（東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館／読売新聞社主催）において優秀賞を、令和元年には、芸術、学術等の発展と向上に貢献した方を顕彰する「西日本文化賞（公益社団法人西日本新聞文化財団）」において奨励賞を受賞するなど、様々な賞に入賞・受賞を果たしている。

また、福岡市美術館が3年に1回、気鋭のアーティストに壁画制作を依頼する企画展「ホワイトウォールプロジェクト」の初回アーティストに選ばれるなど、氏は創作活動を通じて、本県の美術文化の振興に貢献しており、今後の活躍が大いに期待される。



「生きている壁画」

（場所：福岡市美術館 2階大壁面）

- R7.12月末までの3年限定の展示。
1年ごとに加筆を加え、壁画を変化させていく。
（第1弾）R5年1月末完成
（第2弾）R6年1月5日～27日まで制作中
（第3弾）R7年1月制作予定



2023クリスマスアドベントメインビジュアル
「木の上で待つ人たち」

【主な受賞歴】

- 財団法人守谷育成会 美術奨励賞 (H14)
- 第10回新日鐵アートスカラシップ飛幡展 入選 (H14)
- トーキョーワンダーウォール入選 (H15)
- art-icle編集部主催「art-icle Newcomer Artist」入選 (H19)
- art-icle編集部主催 art-icle賞展 オーディエンス賞 (H20)
- ART AWARD NEXT #1 青年会賞 (H22)
- 新世代への視点2010 選出 (H22)
- VOCA展2012 推薦 (H24)
- 損保ジャパン日本興亜美術賞 優秀賞 (H25)
- 西日本文化賞奨励賞 (R1)

（参考）奨励部門：個性的・創造的な創作活動を行い、かつ、将来一層の活躍が期待されるもの。